

第7回すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムを7月1日に開催しました

墨田区における地域福祉の推進とボランティア活動への参加促進を図るため、地域福祉とボランティア活動の関係者や活動に関心を持つ者等が一堂に会し、地域福祉・ボランティア活動について一緒に学び、考え、交流し、広く活動への参加を呼びかけるイベントとして、今年度で第7回目となる「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を、平成29年7月1日（土）13時から開催しました。

今年度は「地域力でつくる 支えあいのまち ～人と人とのつながりで 困りごとを解決しよう～」をテーマとし、約160名の方にご参加いただきました。

【全体会】 「地域の中にはこんなことで困っている人がいる」

全体会は、墨田区社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定委員会副委員長の静間様にコーディネーターをお願いし、朗読サークル「くさぶえ」「みらい」の皆様による朗読劇で、地域の中の困りごとを題材として各分科会の内容紹介などをしました。



【分科会】

1 地域の居場所を支えるボランティア ～地域の拠点でみんなを笑顔に～

地域の中で、ふれあいサロンを実践している方と、社会福祉協議会のプラットフォーム事業でボランティアをしている方から、活動の報告をしていただきました。

その後、グループに分かれ「このグループでサロンをつくるとしたらどんなサロンをつくりませんか」というテーマで意見交換をしました。その中で「どんな人に来てほしいか」「自分はどんなことができるか」といったことを題材とし話が進みましたが、グループによっては、広報はどのようにしたらいいとか、新しく引っ越してきた方を呼ぶにはどうしたらよいかなど、話し合いが深まったところもありました。



2 子どもたちの育ちを支えるボランティア ～子育て拠点で困りごと解決！～

冒頭に、「子育てのこまり事～子育て中の保護者として、子育てステーションの職員として～」というテーマで「子育てステーションこだち」のパート職員の方に、子育て中の保護者としての立場と、子育てステーションの職員としての立場で、報告をいただきました。

その後、「地域の中で子育てをしにくくしている要因」を課題とし、対象を『小学生』

と『就学前』にわけ、それぞれ2つずつのグループでディスカッションをしました。

ディスカッションは、グループ内で進行役を決めて、各自の意見を付せんに記し、一つの用紙に集約する形で進められました。

その後、内容について各グループから発表した後、講評を行いました。



3 新しい私が始まるボランティア ～ボランティア入門編～

ボランティア未経験者やベテランの方が混在していました。ある程度経験等を踏まえて3つのグループに分かれて「新しいボランティア活動始めるには」「ボランティアをする上で課題」などをテーマにディスカッションをしました。



「困りごとを抱えている人と、ボランティアをしてみたい人とをどうマッチングするか」「メンバーの高齢化」「新しいメンバー（若い人、新参者）を取り込む工夫」などの課題が出て、どう解決していくかといったことを話し合いました。



4 住み慣れた地域での暮らしを支えるボランティア ～高齢の方も、障害のある方も安心して暮らし続けるために～



すみだ福祉サービス権利擁護センターから、成年後見制度と市民後見人についての制度説明あった後に、現役市民後見人2人と地域権利擁護事業で生活支援員をしている2人から、体験談を話していただきました。

その後のディスカッションでは「なぜこの分科会なんだのか」「自分がもし支援を受ける立場になったら支援されたいか」を中心に意見交換しました。



以上、4つの分科会では、どの分科会も活発な意見がでて、「良かった」という感想を多くいただきました。

【発表会】「地域力でつくる 支えあいのまち」

各分科会で話し合われた内容を、代表者が発表し、最後にコーディネーターの静間氏から、講評をいただきました。



☆ 詳細については9月上旬頃ホームページで公開します。